

平成 27 年 1 月総務企画委員会 議事概要

2015/1/28 作成

2015/2/2 修正

日 時：平成 27 年 1 月 20 日（火） 18：00～20：00
会 場：建築士会 会議室
出 席：（担当副会長）長田 喜樹
（委 員 長）金子 修司
（委 員）加藤 清、芝 京子
欠 席：山成 芳直、石井 明、加藤 高明、菊嶋 秀生、嵯峨野 雅彦、
長谷川 行彦、永井 香織、村島 正章
事 務 局：須藤事務局長 豊島職員

<確 認 事 項>

1 前回(12/16)議事録の確認【資料 1】

○メールリストで事前送付済みであり、加除等があれば事務局に連絡いただくものとして 承認された。

<協 議 事 項>

1 会費改定に伴うパブコメ等について（中間報告）【資料 2】

担当副会長および事務局長よりそれぞれ作成資料を説明。

【主な意見】

委員) 事務局の削減努力が伝わっていないことがパブコメに表れている。支部の活動だけ、あるいは本会の活動だけを行っている会員も見られ、本会と支部のへだたりが、情報不足・合意形成の難しさにつながっていると感じることがある。

委員) 従来、会の方針決定に、会員が十分関わってこなかったことも原因ではないか。

委員長) いずれにしても、地域（＝支部）の活動こそ原点であり、それがないと本会も成立しないと思う。会費改定案に対するパブコメ意見への回答としては、副会長・事務局案でよいか。

委員) 長寿会員に対する会費減額措置の完全廃止については、高齢者層の連鎖的な退会のきっかけになる恐れがある。たとえば 5 年ぐらいかけた段階的な引き上げとしてはどうかとの声もあるが。

委員) 高齢化の実態が、減額措置を設けた時点と大きく変わっていることを考えると、引き上げもやむを得ないのではないか。

委員) なお、減額措置を残して段階的に引き上げを実施する場合は、減額完全廃止とペアの施策である表彰は実施しない方向で見直す必要がある。

委員長) 総務企画委員会としては、高齢者減免については、現行案でいくこととし、少数付帯意見である「5 年程度の段階引上げ案」を添え、正副会長会議を経て常任理事会へ諮ることとする。

委員) 会員の生の声の情報収集に努力しているかについての回答では、青年委員会の新規合格者向けのアンケートに限らず、その他にも地道な収集活動を行っていることを入れた方が良

い。

⇒ 本日の意見を踏まえ資料を訂正し、1月27日の正副会長・常任理事会へ諮ることとなった。

2 平成27年度総務企画委員会事業計画および予算について【資料3】

事務局より資料説明し、承認。

- ・事業計画については旧年度に倣って作成し、予算書については講習会、見学会の参加人数を実態に合うよう減らした。

<その他> 次回以降の委員会日程を確認した。

平成27年2月10日（火）18：00～

3月18日（水）18：00～

以 上